



2019年7月19日

各位

会社名 株式会社TOKAIホールディングス
代表者名 代表取締役社長 鴫田 勝彦
(コード：3167、東証第1部)
問合せ先 執行役員 広報部 IR室担当 谷口 芳浩
(TEL. 03-5404-2891)

株式会社アムズブレンの株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ

当社の100%子会社である株式会社TOKAI コミュニケーションズ（本社：静岡県静岡市、代表取締役社長：福田安広、以下 TOKAI COM）が、株式会社アムズブレン（本社：岡山県岡山市北区、代表取締役社長：石田貴仁、以下 アムズブレン）の株式を取得する株式譲渡契約を締結し、同社を連結子会社化いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

昨今、情報通信分野を取り巻く環境の変化や技術革新のスピードは著しく、特に企業におけるデジタル化がもたらすビジネスモデルの変革とともに、顧客ニーズも一層多様化・複雑化しています。これらに対応し、持続的な成長を実現するためには、デジタルトランスフォーメーション（DX）※の推進が重要となります。このような中、TOKAI COM はネットワーク・データセンター・システム開発を三位一体で展開するワンストップサービス企業として、個人向けから法人向けまで、情報通信分野で幅広いサービスを展開しています。法人向けでは、自社所有のデータセンターや光ファイバーネットワークを活用し、長年培った技術・ノウハウを背景に、クラウド・AI・IoT などの先端技術にも積極的に対応し、お客様に最適なソリューションを提供しています。

アムズブレンは、子会社の株式会社アムズユニティー（本社：岡山県岡山市北区、代表取締役社長：石田貴仁、以下 アムズユニティー）を通して、岡山県においてソフトウェアの受託開発とシステムの運用・保守を主力とする情報サービス事業を展開しています。同地域における長年の事業展開を通じて得たノウハウやリソースを活かし、安定した業績を確立しています。

このたび、両社の事業リソースを相互に活用することで、情報通信事業における開発体制の強化をはじめ、岡山県にある自社データセンターを核としたシナジーの創出および両社の中長期的な企業価値向上につながるものと判断し、本件株式取得を実施いたしました。今後、両社の強みを活かし、事業領域の一層の拡大・拡充を図ることで、多様化するお客様のニーズに迅速・柔軟に対応し、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を支援するとともに、両社の持続的な成長を目指してまいります。

※ デジタルトランスフォーメーション（DX：Digital Transformation）

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

2. 株式会社アムズブレン及び株式会社アムズユニティの概要

(1) 名 称	株式会社アムズブレン		
(2) 所 在 地	岡山県岡山市北区北長瀬 1201 番地 1		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石田 貴仁		
(4) 事 業 内 容	ソフトウェアの受託開発・販売		
(5) 資 本 金	10 百万円		
(6) 設 立 年 月 日	1989 年 4 月		
(7) 大株主及び持株比率 (2019 年 7 月 17 日時点)	松本 晃良	89%	
	松本 順一	10%	
	石田 貴仁	1%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません	
	人 的 関 係	該当事項はありません	
	取 引 関 係	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2017 年 3 月期	2018 年 3 月期
		2019 年 3 月期	
	純 資 産	31 百万円	30 百万円
	総 資 産	34 百万円	33 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	154 千円	152 千円
	売 上 高	0 千円	0 千円
	営 業 利 益	△ 4,663 千円	△ 433 千円
	経 常 利 益	43,398 千円	△ 329 千円
	当 期 純 利 益	△ 40,230 千円	△ 536 千円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	△ 201 千円	△ 3 千円
	1 株 当 たり 配 当 金	-円	-円

(1) 名 称	株式会社アムズユニティ		
(2) 所 在 地	岡山県岡山市北区北長瀬 1201 番地 1		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 松本 晃良 代表取締役社長 石田 貴仁		
(4) 事 業 内 容	ソフトウェアの受託開発・販売、システムの運用・保守		
(5) 資 本 金	10 百万円		
(6) 設 立 年 月 日	2007 年 3 月		
(7) 大株主及び持株比率 (2019 年 7 月 17 日時点)	株式会社アムズブレン	100%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません	
	人 的 関 係	該当事項はありません	
	取 引 関 係	該当事項はありません	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2016 年 12 月期	2017 年 12 月期
		2018 年 12 月期	
	純 資 産	177 百万円	184 百万円
	総 資 産	199 百万円	204 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	177 千円	184 千円
	売 上 高	188 百万円	209 百万円
	営 業 利 益	△ 19 百万円	11 百万円
	経 常 利 益	△ 1 百万円	11 百万円
	当 期 純 利 益	△ 1 百万円	6 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	△ 1 千円	6 千円
	1 株 当 たり 配 当 金	-円	-円

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	松本 晃良、松本 順一
(2) 住所	岡山県倉敷市、岡山県倉敷市
(3) 上場会社と当該個人の関係	特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

4. 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (所有割合：0%)
(2) 取得株式数	198株 (議決権の数：198個) (発行済株式数に対する割合：99%)
(3) 異動後の所有株式数	198株 (議決権の数：198個) (所有割合：99%)

5. 日程

(1) 契約締結日	2019年6月27日
(2) 株式取得実行日	2019年7月18日

6. 今後の見通し

本件が当社の2020年3月期連結業績に与える影響は軽微と認識しております。

以上